



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kito-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

OCTOBER 1990 vol. 4
 The Service Club to the YMCA
 Chartered September 25, 1982

MOTTO (1990~1991)

- | | |
|--|------------------|
| IP Individual effort makes the difference. | 個々の相違で輝く業を |
| AP Think Globally, Act Locally. | 地球規模の発想でローカルな実践を |
| RG DG One Step for the Future | 未来へ向かって一步 |
| CP | 活気ある協力に生きよう |

今月の強調テーマ

前年度ハワイのヌアヌクラブのLarry & Mae Hirana夫妻の来日から、みんながブラザー・クラブを身近かに感じて下さったのは成功でした。これからは香港ボヒニアを含め会員諸氏がブラザークラブを身近かに感ずるように努力したいと考えます。

IBC委員長 谷川 寛

YEEPのプログラム自体の問題点をJakob君の受入経験から見直し、さらに充実したものと思いたいと思います。

YEEP委員長 蔭山孝幸

IBC・YEEP

今月の聖句

「それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、忍耐は練達を生み出し、練達は希望を生み出すことを知っているからである。そして希望は失望に終わることはない。」

(ローマ人への手紙第5章3~5節)

9月 出席状況

会員数	34名
第1例会出席会員	17名
ゲスト	3名
メネット	3名
第2例会出席会員	9名
うちMU	3名
*出席率 58.82% (前月 91.18%)	

9月 BF報告

	現金	切手
9月	200Pt.	1,200Pt.
累計	951Pt.	9,720Pt.

9月の切手提供者:

(順不同) 河野君、鈴木君、中堂君、足立君、
 隅田君、黒田君、山田君、田中君、
 藤原君、佐藤君、湯浅君、杉浦君
 お願い: 切手ご持参の際、お名前を明記してください。

10月第1例会

日時 1990年10月17日(水)P.M. 6:30~8:30
 会場 YMCA国際社会奉仕センター

司会 藤本史郎君

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1、開会点鐘 | 福永嘉彦会長 |
| 2、クラブソング | — 同 |
| 3、聖句朗読 | 河野正義君 |
| 4、ゲスト紹介 | 福永会長 |
| 5、日々の糧 | — 同 |
| 6、晚餐 | |
| 7、卓話 IBCについて | 谷川 寛君 |
| YEEPについて | 蔭山孝幸君 |
| 8、お誕生祝い | |
| 9、ニコニコ献金 | ドライバー |
| 10、役員会、委員会報告、YMCAニュース | |
| 11、閉会点鐘 | 福永会長 |

今月の当番(会場準備、あとかたづけ等)
 平田君、湯浅君、松尾君、河野君、藤本君、有本君
 (以上第4班)

10月誕生の方々

湯浅充章(たかあき)君	31日
藤本まち子メネット	20日
山村利子メネット	9日

クリスマス例会予告

日時 1990年12月20日(木)P.M. 6:30より
 会場 オレンジホール(平田ビル9F)
 今年のクリスマス例会は平田会員のご好意により、上記の通り、いつもの会場とは変わった雰囲気で開催することになりました。
 どうぞ今から予定表に入れて、当日はご家族、ご友人を誘ってご参加ください。

貧しき人々の聖母

マザー・テレサに会って感動

9月第1例会卓話より

台風19号の近畿襲来で1週間延期された9月第1例会は、26日いつものYMCA奉仕センターで開かれた。

今回はゲスト・スピーカーに、中堂会員ご紹介の、毎日新聞社会部記者神田和則氏を迎え、「インドで出会った人びと」と題して卓話をお聞きした。

9月2日、大人と同じ市民の権利を認める「子どもの権利条約」が発効、9月29、30両日、ニューヨークで海部首相ら世界の首脳が出席して「子どものための世界サミット」が開かれた。これに焦点をあわせ、かねてから続けられている毎日新聞、同社会事業団の「飢饉、貧困、難民救済キャンペーン」に関する取材のため、インド、バングラデッシュに出かけた神田記者のお話。

当初、同氏は訪ねた国々の、急激な都市化によって増え続けるストリート・チルドレンの実態について、詳しく話される予定だったようだが、時間の関係からそれらの飢饉線上にさまよう人々にとって聖母のような存在の、マザー・テレサについて語られた。

神田記者のお話は実に感動的であった。何故か？それは神田氏自身が、面会の極めて難しいマザーに、時間的に、地理的に、またマザーの忙しさの故に非常な困難を乗り越えて、やっと会えた感激と、マザーの持つ不思議な威厳と優しさとその言葉に、体の震えるような感動を覚えられた体験がそのまま神田氏のお話の中に滲み出ており、同氏の感動がまた私たちにひたひたと伝わってきたからではなからうか。

私たちの多くはマザーが何度か来日され、その偉大な働きについてはよく知っているが、あの卓話の中には恐らく初めてマザーに会われた若い神田氏の純粋な思いが溢れており、それがそのまま私たちに響いて来たのだと思う。

中堂さん、よいゲスト・スピーカーを招いて下さって有難う。

次のプログラムの田中さんの「クラブ創立の頃を振り返って」のお話も、古い会員にも新しい会員にもクラブの原点を再認識する意味で大変示唆に富んだ、よい卓話であった。
(黒田蔵之)

9月例会のニコニコメッセージ

2人の方の入会式、神田記者の“マザー・テレサ”のお話、そして田中さんの「創立当時のお話」など、興味深いプログラムをたくさんありがとうございました。

杉浦眞喜子
今日のスピーカー毎日の神田和則記者の謙虚な態度が好感された。記者らしくないところが良かった。

鈴木謙介
社会部記者御本人から聞く話はさすがに面白かった。センテニアル創立の頃の話も興味深く聞きました。

佐藤勝雄
マザー・テレサの世界に酔いました。
藤井道雄

Q&A「CSって何？」シリーズ (第2回)

CS委員 山田孝彦

Q「Community Serviceについては分かりました。それと年賀切手はどんな関係なのですか？」
A「日本区にCS資金(アジア資金)というものがあります。アジアの開発途上国の援助協力や、青少年プログラムの援助に活かされて来ました。最近では国内のCS活動の援助にも支出されるようになりました。切手を換金してこの資金にするのです。」

Q「では年賀切手を多く集めれば、間接的によそのクラブのCS事業にも参加できることになりませんか。どれくらい集めたらいいでしょう？」

A「本年度の目標は1名15ポイントです。お年玉の4等のシートは15ポイント、5等は1ポイントに換算します。足りないところは現金ポイント(100円1ポイント)でカバー出来ますが、やはり切手を集めることに意味がありますね。年賀状に一言添えて知人にも協力してもらうことも試してください。」 <つづく>

出席出来たこと感謝です。マザー・テレサのお話しは心より奉仕の生活へと導いて下さったと思います。

鈴木美藤

台風で延期になりましたが、盛会でホットしております。何とか顔を出すことができました。

河野正義

伊藤様、津田葉様ご入会おめでとうございます。

足立利枝

津田葉さん、伊藤さんの入会おめでとうございます。これからもよろしく。

三浦直之

恥ずかしくて言葉もありません。川越利信
伊藤さん、津田葉さん新入会おめでとうございます。今後の御活躍を期待しております。

湯浅充章

津田葉さん、入会おめでとう。藤原さん本日お世話様になりました。

山村幸明

つたない『会長の代理』で相済みませんでした。

堀利満

クラブ創立についての田中さんのお話、とても有意義でした。ありがとうございました。

中堂祐保

マザー・テレサの生の声を聞かせて頂き感激しております。企画を頂きました中堂さんに感謝申し上げます。

藤原正己

創立8周年を記念して。田中穰二
2名の新しい仲間が増えて、わがセンテニアルもますます賑やかになりましたこと感謝です。

山田孝彦

イラク問題で又新たな難民が増えることは全く悲しいことです。何れの面から考えても平和こそ第一……ひたすら平和を願います。

黒田俊子

クラブ創立の歴史を興味深く聞かせて頂きました。入会早々ですが皆さんと力を合わせて尚一層立派なクラブを目指しましょう。

伊藤勝康

センテニアルのひよこです。今後国際的視野を身につけたいと思いますのでどうぞよろしく。津田葉清政

谷川 寛

先月号で御報告しました通り、IBC 三クラブが来年夏（7月末または8月初旬）香港で集まることが決まりましたが、ハワイのブラザーの "NUUANU Y'S UP" 誌も、この件を報じています。以下に掲載します。御一読下さい。

NUUANU Y'S UP

SEPTEMBER 1990

BROTHER CLUB UPDATE

by Larry Hiranaka

One of the highlights of the international convention in Minneapolis was the breakfast meeting held at the Hyatt Regency hotel between the members of the Nuuanu Y's Men's Club, The Y's Men's Club of Osaka-Centennial, and The Y's Men's Club of Bauhinia. The Nuuanu Club was represented by Maurice Shimonishi, Bob Kuwahara, and Mae and Larry Hiranaka. Members present from the Osaka Club were Kan and Yumi Tanikawa and Kensuke and Mifuji Suzuki. No one from the Bauhinia Club attended the convention. Therefore, representing the Bauhinia Club as a liaison person was Mr. C. L. Kung, 1989-90 ISD ASF. Mrs. Kung is a member of the Bauhinia Club.

The purpose of the breakfast meeting was to discuss further the "tri-club" proposed get-together in Hong Kong during this coming (1991) summer. Discussions held were fruitful from the standpoint that we have set a preliminary date for consideration. The date selected was the first week in August.

Subsequent to the breakfast meeting, Kan Tanikawa has written to Mr. Kung confirming the date discussed and requesting that he continue as the liaison person and join us in Hong Kong. Many have asked, "what is Bauhinia?" The Bauhinia is a flower. The Bauhinia Club was chartered in 1979.

IBC 事業は1947年ドレド大会で、韓国と日本の Y'S を訪問して帰って来た前サービスディレクターカール・バークストローム氏から、海外の Y'S 達 特に新しいクラブの Y'S 達が Y'S のバッヂ (註: 正しくはバッヂのことをピンと英語で云います) を欲しがっていたが、外貨事情等の為には買えないでいるとの実情を委員会の中で発言した事から始まる。報告を受けた委員会は、国際展望委員会の部門を通して北アメリカのクラブ達が、海外のこの様なクラブに対してバッヂを贈るという事業を新しい後援プログラムの一つとして行ってはどうかという提言をした。

この様な事から、北アメリカの一つのクラブと海外の一つのクラブの二つのクラブが、お互いに永続的に友好的な対話をするブラザークラブという考え方に発展して行く事になる。

1948年1月に国際展望委員会のディレクター ジャコブ・マッコリー氏が、次の様な報告をした。

- ① パシフィックサウスウエスト区のクラブ達が日本と韓国のクラブとブラザークラブを設立した。
- ② オレゴン州のポートランドが、日本のクラブとブラザークラブ設立の準備をしている。

この様なブラザークラブという考え方は急速に発展した為、国際展望委員会が準備委員会を作り、最初の指導者としてミシガン州バトルクリークのゲール・グラスグローブ氏を選任した。

1949年ワイズメンズワールド4月号で彼は次の様な記事を書いている。「ブラザークラブプログラムの目的は、全ての Y'S men が世界平和と兄弟関係そしてキリスト教の布教のために個人的にも積極的にこのプログラムを利用する事が出来、隣人達がどこに住んでいようと、それらの人達をより良く理解しあえる事を教えてくれるプログラムである。」

1950年1月には、83のブラザークラブが出来、その後着実に増え続け、1965年ワイズメンズワールド6月号には、179のブラザークラブの名前が記されてあったこの時代のブラザークラブ間では、下記の様な事が行われていた。

- ① ブルティオンやクラブの活動報告の交換
- ② 個人間の文通
- ③ 贈り物をする
例えば ミシガン州のランシングは、日本のブラザークラブにネクタイを贈った。
オハイオ州のシンシナティは、フィリピンに種を贈った。

[文責 本年度日本区IBC主任 鈴木俊男]
一次号へ続く

♥♥今年もBF委員から
愛をこめてお願い♥♥

我がセンテニアル Y's の皆様、またBF
か…なんていわないで、今年もBF委員から
のお願いを聞いてください。新しい方もい
らっしゃるので、くどいようですが、今年も
BFとは…から始めたいと思います。

「BFとは、Brotherhood Fund の略称で、
使用済の切手を集めて換金し、メンバーの国
際交流の資金を作る国際事業です」。
そう、簡単にいうと「切手集め」です。

- ① はさみをいつも手元に置いて、郵便が来
たらすぐ切手を切りとる。
- ② 「使用済み切手の整理の仕方」(後述)
に従って、整理、仕分けして
- ③ 例会の時、それを必ず持ってくる。
とっても簡単なことでしょ！ もしまだ実行
してない方がいらしたら、是非、是非これを
実行してください。

ちなみに日本区の年間目標は、一人 1 Kg
(4,000ポイント)です。実際には切手と
現金ポイントの二本だてです(現金ポ
イントは、1円 = 1ポイント)、これを切手
だけで達成しなくてもいい訳ですが、限り無
く目標に近づく努力をしてみるのもY's
らしくていいのではないのでしょうか。「切手
を持って Y's に行こう」を相言葉に、さあ
今から始めて下さい。

最後に、今年から「使用済み切手の整理の
仕方」が少々変わりました。それも含めて以
下にまとめておきますので、出来たらそれに
添って整理して持ってきてくださると、とっ
てもうれしいです。以上BF委員からの愛
を込めてのお願いです。

- ☆
- [使用済み切手の整理の仕方]
1. 60 円の「つり鐘切手」を省きます。
 2. 切手は約 3 mm 台紙を残して切りま
す。
 3. 大型切手と小型(通常の)切手に分
けて、袋に入れ、名前を書いて例会
に持参します。
- ☆

(杉浦眞喜子)

個人消息

湯浅充章君 下記の通り住所変更。
〒662 西宮市門戸西町1-31-A405
Tel. 0798-51-9384
会社連絡先 Tel. 06-942-2480
9月新入会の方々のアドレスは次の通り。
ワイズの名簿にご記入下さい。(右上に続く)

*伊藤勝康君 1938. 7. 23生れ
メネット えりおさん 1. 11生れ
〒560 豊中市刀根山2-6-24

Tel. 06-845-6268

勤務先 興亜火災海上保険(株)直営部

Tel. 06-251-5311

*津田葉清政君 1943. 1. 17生れ
メネット 和子さん 6. 28生れ

〒617 長岡京市今里3-15-6

Tel. 075-952-8589

勤務先 (株)みつわ

Tel. 06-649-7906

10月第2例会

とき 1990年10月24日(水)P.M.6:30

ところ YMCA国際社会奉仕センター

今度の第2例会では役員会と並行して、最近
入会された方々を対象にワイズメンズクラブに
ついてのオリエンテーションを行います。

次の方々は必ずご参加下さい。

中堂君、足立君、蔭山君、隅田君、千柄君、
伊藤君、津田葉君

なお、上にお名前の載っていない方でも、この際
ワイズをもっと学ぼうと思われる方はどなたでも
おいで下さい。

クラブ・ソング

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing,
We raise our hand, our service pledge renewing,
Ne'er to deny our motto's claim,
Y's Men in fact as well as name.
Always our objects to pursue,
We consecrate ourselves anew.

2、

うたえば ころろひとつに
ともがき ひろがりゆきて
遠きも 近きもみな
ささげて 立つやワイズメン
栄えと ほまれ豊か
まことは 胸にあふれん

寸言

「ワイズメンズクラブには観客席は無い」とよく
云われていますが、会員みんなが、お客様気分を捨て
て協力しあってこそ立派な、また楽しいクラブをつく
ることができると思います。

最近新しい仲間が増えてクラブに活気が漲ってきま
した。8月の出席率は91%を超える盛況でしたが、
9月はガタンと落ちました。勿論このようなボランタ
リーな組織では仕事あつてのクラブ活動ですから、非
常に忙しい立場にある方は皆出席は無理でしょう。し
かしながらクラブに籍を置いている以上、「出席」は
義務です。また他の会員への無言の励ましであり、友
情の証しとも言えましょう。(Y. K.)